

令和6年7月15日

東部農林水産振興センター安来農業部

標 題

有機水稲拡大に向けた水田除草機の実演会開催！

(ダイジェスト)

安来地域では、令和4年度に有機JAS認証を取得した法人を有機水稲栽培のモデル拠点として、有機水稲の産地づくりを進めています。安定生産の課題となる除草作業について、6月4日に水田除草機の実演会が行われ、有機水稲の取組に関心のある生産者5名が熱心に実演の様子を見学しました。

有機水稲栽培では、除草剤を含む農薬の使用が制限されることから、雑草対策が特に重要な作業となります。そのため、水田除草機による雑草防除が必須となっています。

しかし、水田除草機を使用する機会は有機栽培以外では稀なため、取り扱い方法が分かりづらく、有機水稲栽培の導入にあたり大きな障壁となっていました。そこで、有機水稲に関心のある生産者を対象とした水田除草機の実演会を開催することで、除草機の使用方法について理解を深めることを目指しました。

実演会では、実際に水田除草機を用いて説明が行われました。実演機の特徴として、既存の田植機に取り付け可能であり、除草の爪の深さを調整することで異なるほ場条件でも綺麗に除草することが出来る等の説明がありました。

参加した生産者の感想として「除草機がどのようなものか分かった」「除草機を初めて見たが、田植機と同じで操作が容易だと分かった」などの意見がありました。

今後も有機水稲の安定生産に繋がるよう、本実演会ほ場の栽培状況を参考にした栽培研修会を開催して、有機水稲の取組拡大を支援していきます。

